

クラス通信

麻生本校・円山校

クラスユニック小学部

令和6年 9月号

2024. 9. 13発行

保護者の皆様へ

副理事長・校医

福島 拓

——このクラス通信はお子様と共にご覧下さい——

クラス通信 9月号は例年、札幌の中高一貫校の難易度をまとめております。私立中学では相変わらず、北嶺・立命館 SP が人気・難易度で一線を画しており直近の偏差値はさらに例年より上昇傾向です。札幌日大 SA・立命館一貫・札幌光星・札幌大谷選抜が追っている構図ですが、横並びの印象です。四谷大塚の偏差値と道コンの偏差値に乖離が見られるのがわかるかと思いますが、これは、それぞれの偏差値の意味が異なることと問題難易度が異なるからです。四谷大塚の偏差値は入試問題における合格率 80%の偏差値（大学受験における A 判定）で、道コンの偏差値は標準問題に対する道内合格者の平均偏差値です。入試合格判定には四谷大塚の偏差値も重要ですが、北海道内における学力位置や志望動向を知るには道コン偏差値も参考にする必要があります。

中学入試について

文責：麻生本校・円山校 西野

昨年に負けず劣らずの暑かった夏もここへきてようやく落ち着いてきました。しかし、中学受験を目指す皆さんは、暑さに負けずよく頑張ってくれました。日々受ける質問にも、なんとか合格ラインを突破したい、そのためこの問題パターンを征服したいという意欲的かつ実践的なものが増えてきました。

さて、今回は来春早々に始まる中学入試で、この秋からより具体的に知っておきたいこと、「一体どの中学がどの位の力（学力レベル）を備えたら受験に間に合うのか、準備として必要なのか、受験したい中学校の状況を知って、今だからこそ十分準備ができること」と思います。

下記の一覧表を参考にして下さい。

※四谷大塚は主催模試の C ライン=50%ライン、道コンは、道コン受験者の各校合格者平均偏差値

☆受験をして入学する中学校（札幌近郊）の SS 目安

中学校名	道コン SS	四谷大塚 SS
北嶺中学校	68.2	55.0
札幌日本大学中学校（SA）	61.6	54.0
立命館慶祥中学校（SP）	68.2	56.0
市立札幌開成中等教育学校	55.5	51.0
北海道教育大附属札幌中学校	55.8	非公表
札幌日本大学中学校（GC）	53.6	49.0
立命館慶祥中学校（一貫）	59.9	48.0
札幌大谷中学校（英数選抜・医進選抜）	56.9	45.0
札幌光星中学校	56.3	47.0
藤女子中学校	51.4	36.0
北星学園女子中学校	48.6	36.0

<裏面に続く>



☆前出のSS表が受験校のすべてではありません

あくまで偏差値は目安です。この偏差値をもった生徒が入学してその後の6年間、勉強の伸びや受験大学への実際に必ずしも連動しているわけではないからです。オープンスクールなどで学校の様子を見て、校風がお子さまと合うと感じられる学校があれば受験をお勧めします。

入学してから学校によっては何度か定期試験の結果などでクラスチェンジがあることも入学時（受験時）大事なポイントです。学内のレベルの中で関門が用意されているということです。入学してからの努力で大学受験までに力をつけていくよう、どの学校も工夫を凝らした授業展開をしています。意外と思われるかもしれませんが、トップ入学者がトップで卒業することはほぼないのが実情のようです。過去にも、中学受験時何とかやっと入学できたというような生徒が、卒業時には上位にいて、当時の第一志望大学に合格を果たしたという事例は当校でも多々あります。中学入試がゴールではなく、継続した努力がやはり必要であると言えます。

一方、中学受験を目指す場合、入試問題には、学校の学習だけでは解けない問題も多く、「中学受験」に特化した受験準備が必須です。いわゆる「私立中学受験型」の学習です。受験準備としては、道内の難関校では2年は必要です。結果として公立の中学に進むとしても、**考える力を養い、受験準備のために早めに学習を進めておくことは、小4、小5年生という人生の中でも一番能力の発達する年代には意識向上や能力アップにつながり良い結果をもたらします。**

当校での学習も日常学習としてこの「受験も意識した学習」を推進しています。



現在進めている(使用教材)について

○麻生小学部では低学年(小3)は、通年教材として「ウインパス」を今年度当初より使用しています。また、四谷大塚のテキストである「はなまる」を併用する場合があります。

以前よりご要望の多かった**学校内容準拠である点、難問が多くなる4年生以降の四谷の「予習シリーズ」に入る前の、基礎固めにこのテキストを完全修得することが大切と考えています。**学校進度も考慮して復習および演習を授業で行いますので、ご家庭では付属の“ワークブック”にて**対応単元を実施**してください。

一冊のテキストを使用することで授業時に実施した内容や家庭学習の把握もしやすくなります。又国語の読解問題の比重を大きくすることで今後必要になってくる“問題を読み解く力”の強化にもつながります。

ご不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

また、4年生以上の、四谷大塚「予習シリーズ」の使用については、すべての問題を授業で扱っているわけではありません。このテキストは首都圏などの超難関中学を志望する生徒も対応できる教材です。

道内の国公立中入試には必ずしも必要のない難問や奇抜な問題も取り入れられています。

麻生校：001-0037 札幌市北区北37条西3丁目3-15 ☎011-716-7162

円山校：064-9820 札幌市中央区大通西23丁目1-1 ☎011-613-7755



9月、10月予定の詳細はQRコードからホームページでご覧下さい。

R6年9-10月円山校小学部



R6年9-10月麻生本校小中学部

